

令和6年度 教育・カリキュラム委員会研修会



大阪府看護学校協議会 教育・カリキュラム委員会において、研修会を企画しました。

今回は、「自ら目標を持ち・考え・行動できる看護師を育成するために、どのように支え、本来持っている力を引き出していか、今後の看護教育に役立てられる」ような機会としました。

そこで、対話型組織クリエイター、一般社団法人日本教育メソッド研究機構、認定教育コミュニケーションRef ExectiveトレーナーGrade-Sである増田乃美先生にご講演をお願いしました。



7月16日(火) 講師:増田乃美先生
テーマ:学生の力を“引き出す”教育



当日は、40名の専任教員が参加しました。

終始、エネルギッシュな増田先生に圧倒されながら対話型研修が進み、「そうそう!」「あ〜そういう対応しているなあ…」と感じ、あっという間に時間が過ぎました。学生の力を引き出す教育をするために教育者・指導者が考えなければならないことの示唆を得る機会となったことが参加者の反応から伝わってきました。増田先生、ありがとうございました。

参加者アンケート結果より抜粋

- ・声のかけ方一つで変わってくると思ったので、学生を信じて関わっていきたいと思えました。
- ・自分自身の行動と照らし合わせながら、学生に対して、決めつけをしていることに気づきました。
- ・聴すという字にゆるすという意味があると初めて知りました。これをもって傾聴ということを知り、傾聴の意味を新たにしました。
- ・Beliefが関わりを決めているという事、省察の機会にするためには鏡になる事を改めて心に刻みました。
- ・「そうなんだ〜」と受け取ること。
- ・「させる」をやめれるように省察をしながらかわっていくようにしたいです。
- ・学生の成長する力に繋がるような関わりができるように...と思いました。

